

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-8	道路土工と舗装の一体型診断システムに基づいた長寿命化修繕方法の開発	岐阜大学 教授 八嶋 厚	A
<p><研究の概要></p> <p>舗装表層の供用年数が使用目的年数に満たず早期に劣化が進行し、補修が繰返される区間について、道路管理の観点から、LCC 最小化を目指した、新しい詳細診断システムと抜本的修繕工法の開発を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <p>試験施工の実施、診断システムの精度向上、道路修繕最適化手法の整理、効果確認のための継続的計測など、計画通り順調に進んでおり、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 本研究の成果を舗装点検の実務に利活用できるよう、技術の導入プロセスや適用条件等の検討も着実に実施し、成果がとりまとめられることを期待する。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。